

壁新聞募集!

「ふるさとのおすすめスポット」

福井県の歴史や文化を紹介する壁新聞を募集します! 応募いただいた壁新聞は県立若狭歴史博物館で展示します。あなたのふるさとの魅力を発信してみませんか?

紹介する地域・テーマ

例

おすすめの場所の名まえ

自然いっぱい古墳見学コース

福井県若狭町にある膳部山ふもとに月形袋地区があります。そこは「王家の谷」とも呼ばれるほどの古墳群があります。かつて7基もあつたが火田や宅地などにより4基になってしまったのですが、日本遺産指定が3つもあるのです。膳部山の自然を感じながらレッツ古墳!

若狭町歴史文化館で出土したものが展示されています。

1 糠塚古墳
前方後円墳
後円部径約30m
全長50~60m
5世紀末3作された。

2 中塚古墳
前方後円墳
後円部径約30m
全長72m
5世紀末3作された。

3 西土家古墳
前方後円墳
後円部径約39m
全長約74m
5世紀後半

4 上土家古墳
前方後円墳
後円部径約64m
全長100m
4世紀末3作された。

この月形袋にはこのような歴史ある物がたくさんあります。だからみなさん月形袋にぜひきてください。

若狭町最大祭

おすすめの場所の位置が分かる地図

おすすめの場所をめぐる道

平成 28 年度「ふるさと」の歴史と文化、おすすめスポット」作品展より

応募資格

どなたでも応募できます(個人のほか、学校、グループ、家庭など)。

応募方法

応募票に必要な事を書き、作品とともに若狭歴史博物館まで郵送または持参して下さい。応募票はチラシの裏面にあるほか、若狭歴史博物館のホームページからダウンロードできます。

応募〆切

平成 30(2018)年 9 月 30 日(日) 必着

募集内容

ふるさと福井県の歴史や文化について、おすすめの見学場所を紹介して下さい。

■ **大きさ** 四つ切画用紙(542mm×392mm程度)1枚以上、模造紙(1091mm×788mm程度)1枚までの大きさ

■ **書き方について**

- ①テーマがわかるように、タイトルをつけて下さい。
- ②場所がわかるように、必ず地図を入れて下さい。
- ③見る人がわかりやすいように、写真やイラストを使って工夫して下さい。
- ④レイアウトは自由です。
- ⑤手書きでも手書き以外でもかまいません。



敦賀城の周りに
かくれる
歴史の
秘話
コース
3.2km

① 敦賀城の案内碑
敦賀小学校の正門横に案内碑があり、城がなくなったあとの歴史が分かります。敦賀城は1583年に蜂屋頼隆により築かれ1589年に大谷吉継が拡張整備し、関ヶ原の戦い後、一時、結城秀康が治め、そのあと一國一城令により1616年に廃城になったといわれています。どのような城であったかは、詳しくわかっていませんが、2009年に小学校のグラウンドから敦賀城時代の建物遺構が発見されています。

② 若狭街道の石碑
敦賀城の案内碑から八幡神社の方へ延びる道は、かつての若狭街道(丹後街道ともいいます)で、古からの道です。このことを示す石碑が建てられています。敦賀城時代には、この道筋に並ぶの川が流れており、堀のようになっていたともいわれています。現在の並の川は1929年に付け替えられており、もともとは、若狭街道のすぐ近くを流れていました。

③ 八幡神社
大谷吉継とゆかりの深い神社です。吉継が奉納したという石灯ろう、石鳥居の彫り物があります。神社内には私立の郷土博物館があります。敦賀に関わる様々なジャンルの膨大な展示品があり、かなりのワンダーランド感があります。とてもオススメです。

④ 西蓮寺: 若狭88ヶ所 83番札所
八幡神社の隣の西蓮寺には、大きな額を刻んだ大きな石を祀った地蔵堂があります。四国88ヶ所にあやかって、江戸時代末期に敦賀・美浜を中心に88ヶ所をえらんだそう。この地蔵堂は83番めの札所になります。若狭88ヶ所については「お地蔵さま 若狭88ヶ所を尋ねて」という書籍が40年前に発行されています。敦賀図書館で借りることができます。

⑤ 三の丸地蔵
民家の角の小さな地蔵堂です。注目は「三の丸」という名前です。いかにも城と関係がありそうな名前です。かつてこの辺が、敦賀城の三の丸があったと言われており、地蔵堂の名前はそこに由来するのとは関係ないでしょう。ただ、どのくらいからあるのか、そのいわれまでは分かりません。

⑥ 四ツ矢地蔵
水路の角に立つ地蔵堂です。「四ツ矢」という名前が、これまた城と関係がありそうです。地蔵堂すぐ横の水路は、敦賀城の堀跡ではないかと言われており、ちょうどこの地点が城の南西隅に当たるといわれています。たしかに、ここから東側、北側へ水路が途中でフタはされていますが、ずっと伸びています。何の変哲もない溝が、堀に見えてこないでしょうか。

⑦ 三の丸地蔵
民家の角の小さな地蔵堂です。注目は「三の丸」という名前です。いかにも城と関係がありそうな名前です。かつてこの辺が、敦賀城の三の丸があったと言われており、地蔵堂の名前はそこに由来するのとは関係ないでしょう。ただ、どのくらいからあるのか、そのいわれまでは分かりません。

⑧ 四ツ矢地蔵
水路の角に立つ地蔵堂です。「四ツ矢」という名前が、これまた城と関係がありそうです。地蔵堂すぐ横の水路は、敦賀城の堀跡ではないかと言われており、ちょうどこの地点が城の南西隅に当たるといわれています。たしかに、ここから東側、北側へ水路が途中でフタはされていますが、ずっと伸びています。何の変哲もない溝が、堀に見えてこないでしょうか。

⑨ 来迎寺: 若狭88ヶ所 85番札所
来迎寺の境内をさらに進むと、墓地が見えます。近くにお堂があります。ここが85番札所の五智如来が安置されているところ。昔、来迎寺と呼ばれたところ。江戸期の天明・天保飢饉で亡くなった方の供養塔もあります。

⑩ 幕末の砲台場の石垣
海の方へと進んでいきます。道が少し奥まった高台になったところに注目です。きれいに石が組まれた斜面があります。これは幕末に外国船に対する備えとして、築かれた砲台(台場)といえます。もともとの石積みは下の2,3段のところですが、その上の丸石の並びもきれいです。この台場あとには、かつて敦賀測候所がありました。

⑪ 結城会館: 若狭88ヶ所 88番札所
88番札所は公民館内にあります。この辺りは「結城町」です。おそらく、結城秀康に由来する名称でしょう。秀康が福井藩主の時期、敦賀に代官を派遣し治めており、そのつながらと推測されます。敦賀城の伝承地は、現在の結城町と三島町にまたがっています。

⑫ 洲崎の高灯籠
敦賀観光ホテルの前に江戸時代に灯台の役目をした高灯籠があります。近くの石垣も古く明治末頃の古写真に写っています。さて、灯籠の隣に「華摩羅」と彫られた石があります。説明板もありません。実は「華摩羅」は京都のお相摸さんの四股名です。敦賀の朝風という相摸取りがお世話になったお礼に1832年に建てたものです。



ご家族で参加

例

平成 28 年度「ふるさと」の歴史と文化、おすすめスポット」作品展より

福井県立若狭歴史博物館 壁新聞『ふるさとのおすすめスポット』

応募票

(応募受付期間 7/1~9/30)

提出日(発送日)	平成 30 年 月 日		
タイトル ※展示の際に使用します			
対象エリア ※複数の市町にまたがってもかまいません	市・町		
作成者の名前・年齢 ※展示の際に使用します	社会人または学校名・学年を記入	氏名	年齢
		ふりがな	歳
展示の時に使用する作成者名 (どちらかを○で囲んで必要事項を記入してください)			
本名 ・ ペンネームやグループ名 []			
連絡先 ※博物館からの応募事項の確認や作品の返却に使用します	住所	〒	
	氏名	電話	
広報での作品公開の可否 (○で囲んでください)	応募作品の画像をフェイスブックやホームページで公開することを 許可する ・ 許可しない ・ どちらともいえない (必要が生じた時に改めて確認します) ※なお、作品の展示会風景をフェイスブック等で紹介する場合がありますのでご了承ください		

※ご記入いただいた情報は、壁新聞『ふるさとのおすすめスポット』での作業以外に使用しません。

学校の夏休みの宿題として



平成 28 年度「ふるさとの歴史と文化、おすすめスポット」作品展より

応募作品の展示
 期間 2018年12月1日(土)~2019年1月31日(木)(予定)
 ※12月10・25・29~31日・1月1・2・15・28日は休み
 会場 福井県立若狭歴史博物館 2階 ホール(予定)

応募上の諸注意
 ※応募いただいた作品は、もれなく展示します。
 ※応募票にご記入いただいたタイトル、作成者の名前(ペンネームも可)・年齢は、作品の展示の際に利用させていただきます。
 ※広報のため、展示の様子を当館のフェイスブック・ホームページに掲載させていただく場合があります。
 ※応募いただいた作品は、作品展終了後に返却いたします。

応募先・問合せ先
 福井県立若狭歴史博物館 担当: 鯉本(あじもと)
 〒917-0241 福井県小浜市遠敷 2-104
 TEL:0770-56-0525 FAX:0770-56-4510



電車: JR 小浜線東小浜駅下車 徒歩 5分
 バス: JR バス若江線遠敷バス停下車 徒歩 10分
 自動車: 舞鶴若狭自動車道小浜 IC から 5分